

平成28年度 プロジェクト研究費研究実績報告書

平成 29 年 5 月 8 日

代表者 風間 文明

研究課題名	女子大学生の進路決定とキャリア形成に関わる要因の検討
研究期間	平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日
共同研究者	山下 倫実
1. 今年度の研究概要	
<p>【研究の背景・目的】</p> <p>進路決定は青年期の若者が必ず直面する問題の一つである。本研究の目的は青年期にある女子大学生がどのように進路を決めていくのかについて、その規定因と進路決定プロセスを明らかにするとともに、進路決定の確信度や就職活動中、就職前の対人的なサポート、ストレスなどが就職後の職場適応にどのように影響を与えるかを明らかにすることである。さらに、得られた知見に基づき、女子大学生の進路決定に対する有効な支援につなげることが目的である。</p> <p>第1調査では、大学3年生を対象に進路決定の確信度と柔軟性に着目し、個人の要因として自己効力感と役割占有感の影響を、対人環境の要因としてソーシャルサポート源の影響を検討した。主な結果は以下の通りである。(1)自己効力感と役割占有感が進路決定の確信度に及ぼす影響については、自己効力感が高い人ほど役割期待認知、役割遂行感が高まり、それらが社会的居場所感を高め、結果として進路決定の確信度も高まるという過程が示唆された。進路決定の柔軟性に対しては影響がみられなかった。(2)ソーシャルサポート源の影響については、教員による情緒的ソーシャルサポートは進路決定の確信度を高め、柔軟性を低下させる働きを、就職支援課の情緒的ソーシャルサポートは、逆に進路決定の確信度を低下させ、柔軟性を高める働きをしており、教員と就職課が女子大学生の進路決定に対して異なる方向付けをする機能を果たしていた。</p> <p>今年度の研究では、第1調査の結果を受けて、同一の調査対象者に対して、大学4年次の夏(就職活動中)、1月(就職活動後)、卒業時(就職直前)の3つの時期に縦断的に調査を行い、各時期のストレスや不安が、対象者の自己効力感やソーシャルサポート源との関わりとどのような関係にあるかを明らかにする。先行研究では、大学4年生を対象にした縦断研究はほとんど見られないため、本研究を通してこれまで得られている知見を統合したモデルを構築し、4年生の各時期における、より実践的な支援策を提言することができると思う。</p> <p>【取り組み内容・方法・状況】</p> <p>就職活動中のじょしだいがくせいを調査対象者として、質問紙調査を縦断的に行った。第2調査では、個人の要因として自己効力感、役割占有感、特性不安、対人環境の要因としてソーシャルサポート源、就職活動中の対人環境の評価、従属変数として就職活動中のストレス、就職活動による自己成長、就職活動への労力、内定先の納得度などについて質問項目を設定した。研究計画に基づき、大学4年次の7月~8月に調査実施した。また、大学4年次の1月に第3調査を、3月19日に第4調査を実施した。</p>	

2. 研究の成果

【研究成果のまとめ】

(1)第 2 調査の成果:結果から、就職活動中のストレスは、自分の適性に関する不安から生じる適性ストレス、早起きや歩き通しがきついという身体的ストレス、周囲の人が気になったり、比較したりする周囲への気がかりストレスから構成されることが示された。相関分析からは、自己効力感の高い人ほど適性ストレスを感じにくく、就職活動による自己成長感が高いことが示された。また第 1 調査と対照させ、両方の調査ともに回答している42名を対象にした分析から、大学3年次に就職支援課や家族のソーシャル・サポートが多かった人ほど、内定までに労力をかける一方で、内定先の納得度が低い傾向がみられた。また、進路決定の確信度は、自分の希望進路がわからない、決定に自身が持てない、とった ストレのみならず、企業からの不合格や、友人が先に内定を得た、などのネガティブ などらえ 方が可能な事態に対しても耐性を高める働きをすることが示された。しか一方で関係性強化の側面での就職活動による自己成長感を低下させる効果もみられた。今後も分析を継続して行っていく。

(2)第3調査、第4調査の実施:大学4年次の1月に第 3 調査を、3 月 19 日に第4調査を実施した。現在、分析中である。

【課題及び今後の計画】

今年度中に、2016 年度の調査対象者に対して社会人になってからの職場適応に関する調査を実施し、就職活動前、活動時の進路決定確信度、役割占有感、自己効力感、ソーシャルサポートといった個人内、個人間変数との関連を検討する予定である。

3. 研究成果の公表実績(年月日、方法)

【論文】

風間文明・山下倫実(2016). 女子大学生の就職活動における進路決定の確信度と柔軟性に影響する要因—自己効力感とソーシャルサポートに着目して— 十文字学園女子大学紀要第 47 巻,15-24. (2017 年 3 月 31 日発行)

風間文明・山下倫実(2017). 就職活動中のストレスと自己成長感の規定因に関する縦断的検討—就職活動前の自己効力感、進路決定、役割占有感に着目して— 十文字学園女子大学紀要第 48 巻(投稿中)

【学会発表】

風間文明・山下倫実(2016). 女子大学生の進路決定と対人環境の関係(1)—社会的役割占有感、自己効力感が進路決定に及ぼす影響— 日本教育心理学会第 58 回総会発表論文集,183. (2016 年 10 月 8 日:サンポートホール高松 かがわ国際会議場)

山下倫実・風間文明(2016). 女子大学生の進路決定と対人環境の関係(2)—女子大学生の進路決定に影響を及ぼす情緒的/道具的サポート源に関する検討— 日本教育心理学会第 58 回総会発表論文集,184.(2016 年 10 月 8 日:サンポートホール高松 かがわ国際会議場)

山下倫実・風間文明(2016). 女子大学生の進路決定と対人環境の関係(3)—個人の接近回避志向及び阻害的対人環境が進路決定に及ぼす効果— 日本社会心理学会第 57 回大会発表論文集,372.(2016 年 9 月 18 日:関西学院大学)

風間文明・山下倫実(2017). 女子大学生の進路決定過程と対人環境関係 (4)―就職活動ストレと役割占有感、自己効力が成長に及ぼす影響―日本教育心理学会第 59 回総会発表論文集,486. (2017 年 10 月 8 日:名古屋国際会議場)

山下倫実・風間文明(2017). 女子大学生の進路決定と対人環境の関係(5)―情緒的/道具的サポートが就職活動及び就職活動ストレスに及ぼす影響―日本教育心理学会第 59 回総会発表論文集,487. (2017 年 10 月 8 日:名古屋国際会議場)

風間文明・山下倫実(2017). 女子大学生の進路決定過程と対人環境関係 (6)―就職活動前の進路決定 と自己効力感 , 役割占有が就職活動ストレと自己成長 感に及ぼす影響―日本心理学会第 81 回大会表論文集,152. (2017 年9月 21 日:久留米シティプラザ)

平成 28 年度(2016 年) 研究概要

研究所・部門	プロジェクト研究 採択研究
研究課題名	女子大学生の進路決定とキャリア形成に関わる要因の検討
研究代表者	風間文明
研究期間	平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日
共同研究者	山下倫実

1. 研究成果取組状況

(1) 国内外の学会発表

状況	発表者, 発表課題, 学会誌名, 発表年月日, 発表場所	招待講演
発表済	風間文明・山下倫実(2016). 女子大学生の進路決定と対人環境の関係(1)― 社会的役割占有感、自己効力感が進路決定に及ぼす影響 ― 日本教育心理学会第 58 回総会発表論文集,183. (2016 年 10 月 8 日:サンポートホール高松 かがわ国際会議場)	
	山下倫実・風間文明(2016). 女子大学生の進路決定と対人環境の関係(2)―女子大学生の進路決定に影響を及ぼす情緒的/道具的サポート源に関する検討― 日本教育心理学会第 58 回総会発表論文集,184.(2016 年 10 月 8 日:サンポートホール高松 かがわ国際会議場)	
	山下倫実・風間文明(2016). 女子大学生の進路決定と対人環境の関係(3)―個人の接近回避志向及び阻害的対人環境が進路決定に及ぼす効果― 日本社会心理学会第 57 回大会発表論文集,372.(2016 年 9 月 18 日:関西学院大学)	
	風間文明・山下倫実(2017). 女子大学生の進路決定過程と対人環境関係 (4)―就職活動ストレと役割占有感、自己効力が成長に及ぼす影響―日本教育心理学会第 59 回総会発表論文集,486. (2017 年 10 月 8 日:名古屋国際会議場)	
	山下倫実・風間文明(2017). 女子大学生の進路決定と対人環境の関係(5)―情緒的/道具的サポートが就職活動及び就職活動ストレスに及ぼす影響―日本教育心理学会第 59 回総会発表論文集,487. (2017 年 10 月 8 日:名古屋国際会議場)	
風間文明・山下倫実(2017). 女子大学生の進路決定過程と対人環境関係 (6)―就職活動前の進路決定 と自己効力感, 役割占有		

	が就職活動ストレと自己成長 感に及ぼす影響ー日本心理学会第81回大会表論文集,152. (2017年9月21日:久留米シティプラザ)	
発表予定		

(2)雑誌論文(学内紀要含む)

状況	発表者, 発表課題, 学会誌名, 発表年月日, 発表場所	査読有無
投稿済	風間文明・山下倫実(2016). 女子大学生の就職活動における進路決定の確信度と柔軟性に影響する要因ー自己効力感とソーシャルサポートに着目してー 十文字学園女子大学紀要第 47 巻,15-24. (2017年3月31日発行)	
投稿中 投稿予定	風間文明・山下倫実(2017). 就職活動中のストレスと自己成長感の規定因に関する縦断的検討ー就職活動前の自己効力感、進路決定、役割占有感に着目して 十文字学園女子大学紀要第 48 巻(投稿中)	

(3)図書等の出版

状況	発表者, 発表課題, 学会誌名, 発表年月日, 発表場所
出版済	
出版予定	

(4)シンポジウム・講演会等の開催

状況	主催者名・協賛社名等, 講演(発表タイトル), 実施年月日, 実施場所
開催済	
開催予定	

(5)本研究に関連して本学経費以外に支援を得た補助金など

年度	機関・財団名, 事業名, 課題名